



横浜国立大学 (神奈川県)

このコースでは指導教員のもと、教育方法論から各教科まで、学校教員が必要とするあらゆる問題に関する勉学・研究が可能です。

◇大学紹介

①大学の概要

横浜国立大学は、神奈川師範学校、神奈川青年師範学校、横浜経済専門学校及び横浜工業専門学校を包括して1949年に誕生した総合国立大学です。現在は約10,000人の学生と約1,000人の教職員を要しています。また首都圏に位置しているので学術、文化、芸術の各分野において優れた研究環境をもっています。

②国際交流の実績

- ・過去3年間の留学生の受入れ実績
2024年度：767名（2024年5月1日現在）
2023年度：781名（2023年5月1日現在）
2022年度：751名（2022年5月1日現在）
- ・過去3年間の教員研修留学生の受入実績
2024年度：1名（韓国）
2023年度：2名（韓国）
2022年度：0名

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

受入れ講座が変化に富み、さまざまな専門分野の研修生の受入れが可能です。また、マン・ツー・マン方式の教育を重視しているので研修生のニーズに十分応じられます。

②受入定員 3人

③奨学金支給期間

2025年10月～2027年3月

④コースの修了要件

研究論文（修了レポート）を提出し指導教員の承認を得ること。

- ・規格：A4版（縦長、横書き）、30ページ以上（1ページあたり日本語で1400文字程度を目安とする）
- ・使用言語：日本語

（日本語での記述が難しい場合は、指導教員の許可を得た上で、母国語等で作成しても良い。ただし、その場合は、日本語の要約を添付すること。）

⑤研修コースの概要

- ・日本語教育
(7)日本語研修コース(指導教員が必要と判断する場合)
2025年10月～2026年3月の半年間。
(1)補充コース
(日本語研修コース修了後、)各研修生の希望及び日本語運用能力に応じて本学全体の留学生向け日本語クラスに参加することができます。

・専門教育

(7)形態

指導教員が中心となり学生チューターの協力を得ながら各専門分野の立場から個別指導を実施しています。希望及び必要に応じて、学部及び大学院の開講科目に参加できます。指導教員の中には、英語での指導が可能なる者もいます。

(1)英語による授業科目

全体に対する英語による授業は開設していませんが、国際教育センターで開講している国際交流科目（英語による）が受講できます。

・見学・地域交流等の参加型科目

日本の学校教育への理解と、教員としての資質向上を目的とし学校機関等を訪問し、研究発表会などに参加することができます。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も必要に応じてメール等で相談に応じています。

◇宿 舎

大学の宿舎への入寮を希望する教員研修留学生は、常盤台インターナショナルレジデンス(個室)に優先的に入居することができます。

- 宿舎数：個室(16㎡) 166室
- 宿舎費：賃料 43,500円/月
共益金 6,300円/月
水道光熱費 15,510円/月(税込)
入居一時金 55,000円(税込)

○宿舎設備・備品：家具、家電付き

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

横浜は東京に近く、古くから国際港として外国との窓口として発展し、多くの外国人が生活していて、留学生にとって住みやすい環境です。大学敷地内のため通学時間0分、電車賃もかかりません。

◇問合せ先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-8

横浜国立大学学務・国際戦略部

グローバル推進課留学生係

TEL：045-339-3131 FAX：045-339-3119

メールアドレス：global.student@ynu.ac.jp

ウェブサイト：

<https://www.whystudyat.ynu.ac.jp/international/>

<https://global.ynu.ac.jp/>